

# 2020年3月期 決算説明資料

2020年5月13日（水）

日本KFCホールディングス株式会社

（東証第2部 証券コード 9873）



- 
- 1. 2019年度 実績（2020年3月期）**
  - 2. 2020年度 業績見通し（2021年3月期）**
  - 3. KFC事業の主な取り組み**



# 1. 2019年度 実績

# 2019年度 連結損益

単位：百万円

	2019年度		2018年度		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	79,634	-	74,344	-	5,289	-
売上総利益	34,959	43.9%	32,037	43.1%	2,921	0.8%
販売管理費	▲30,173	37.9%	▲29,831	40.1%	▲342	2.2%
営業利益	4,785	6.0%	2,206	3.0%	2,579	3.0%
経常利益	3,252	4.1%	2,975	4.0%	276	0.1%
純利益	1,533	1.9%	2,055	2.8%	▲522	▲0.8%

主力のKFC事業は好調に推移（営業利益 前年比2.2倍）したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、持分法による投資損失を営業外費用に計上している（5月11日 適時開示済み）。尚、2020年3月期末の配当は25円を予定している。

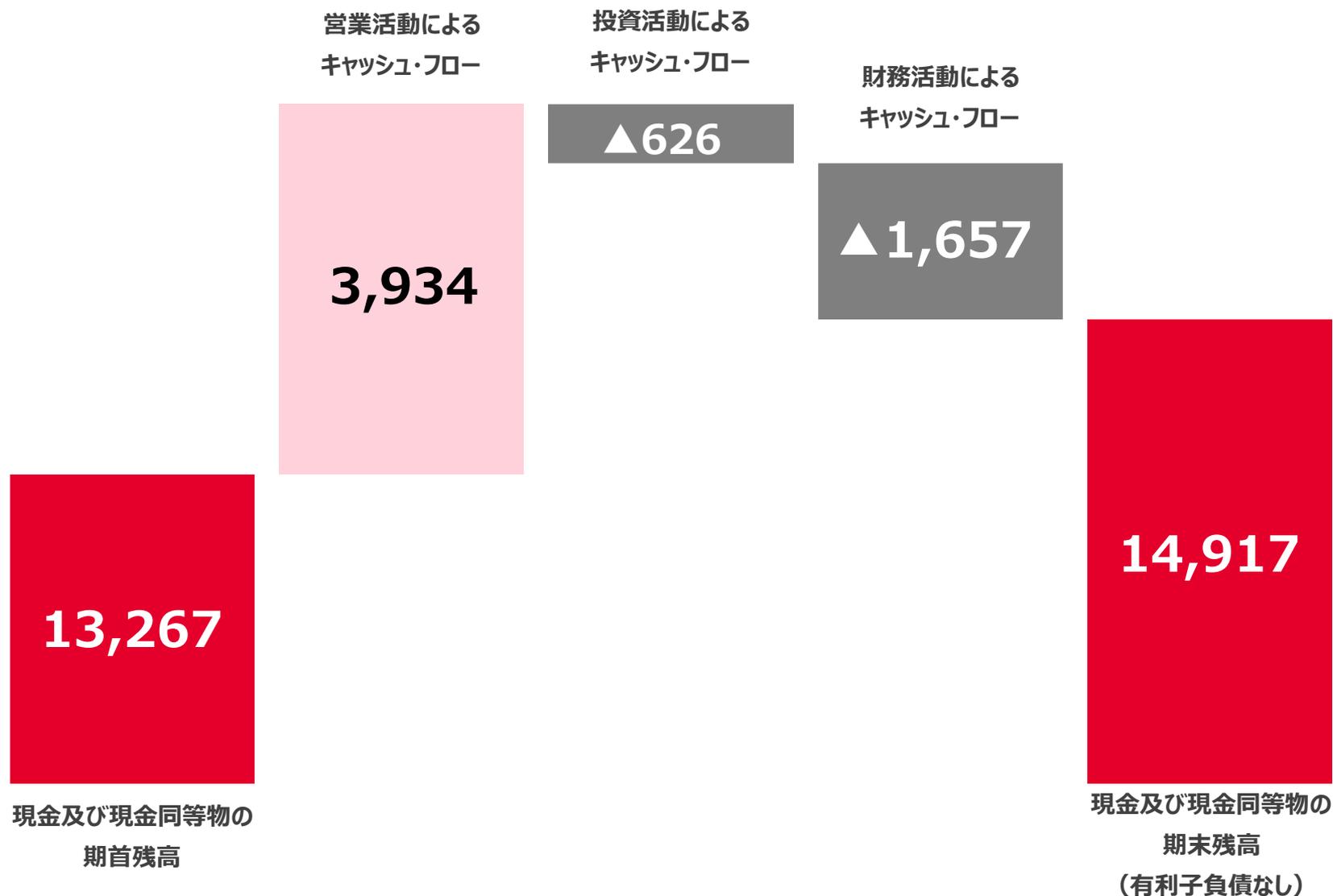
# 2019年度 連結財務指標



指標	2019年度	2018年度
自己資本比率（％）	57.4	55.7
自己資本利益率（％）	7.1	9.8
総資産純利益率（％）	4.0	5.5
1株当たり純資産（円）	976	957
1株当たり当期純利益（円）	68.6	92.0
期末日株価終値（円）	2,310	1,989
時価総額（百万円）	51,630	44,455

# 2019年度 連結キャッシュ・フロー

単位：百万円



# 2019年度 KFC事業ハイライト

チェーン売上高

**1,287億円**  
過去27年間で最高

既存店売上高  
前年比

**+10.1%**

既存店客数  
前年比

**+10.1%**

月次既存店売上高  
前年比

**16カ月連続  
の増加**  
2018年12月～2020年3月

既存店  
平均月商

**974万円**  
過去20年間で最高  
(稼働ベース)

店舗数

**1,133店舗**  
前年比+1

改装店舗数

**212店舗**  
前年比+112

デリバリー  
対応店舗数

**220店舗**  
前年比+28

# 2019年度 KFC事業ハイライト

## 日常化を目指した最適化

1. マーケティング施策による日常化の推進  
「今日、ケンタッキーにしない？」の浸透
2. 新商品施策の強化
3. 2019年10月消費増税/軽減税率対応  
「お客様・従業員への分かりやすさ」を考慮し、  
「店内飲食」及び「持ち帰り」の税込み価格を統一

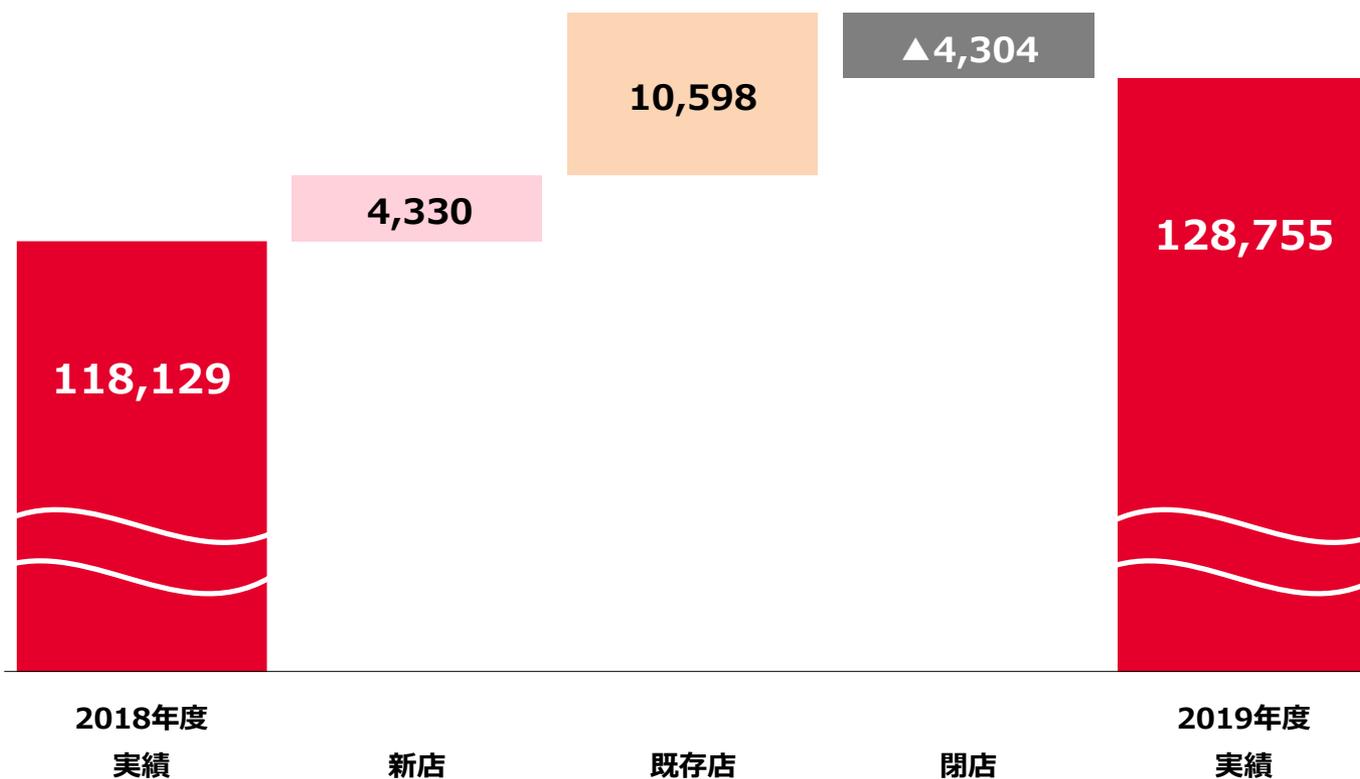
## 体験価値の向上

1. QSC×H (Quality, Service, Cleanliness × Hospitality) の実践
2. KFC公式アプリの利用促進
3. 212店舗の改装を実施 (前年比+112店舗)

# 2019年度 KFC事業 チェーン売上高

単位：百万円

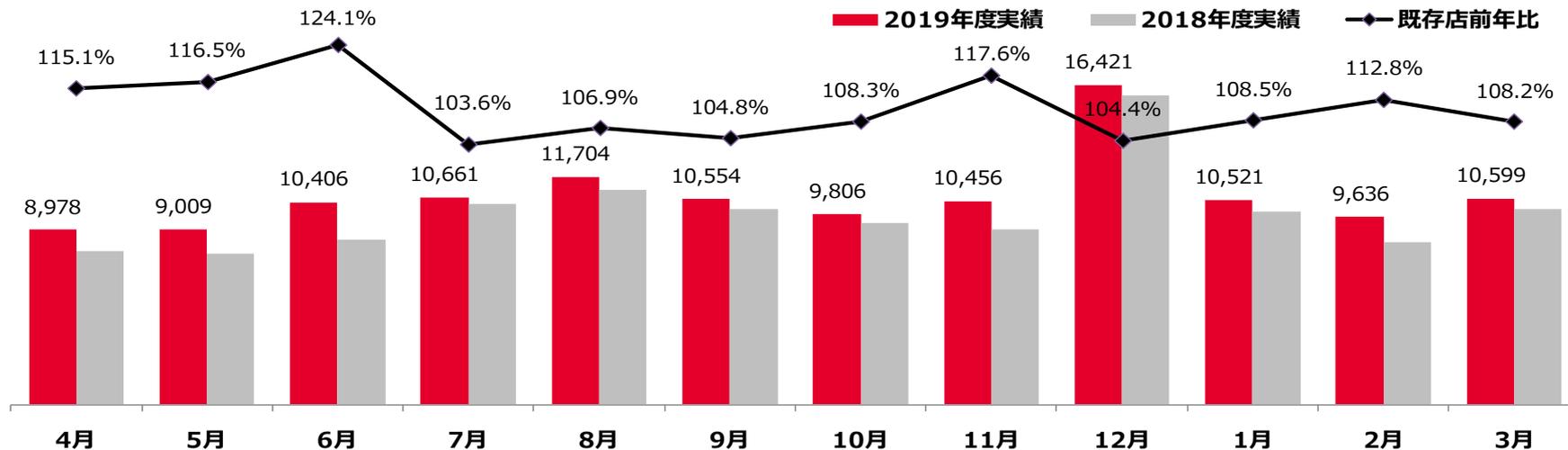
	2019年度	2018年度	増減
直営	36,433	34,561	1,871
フランチャイズ	92,321	83,568	8,753
チェーン売上高	128,755	118,129	10,625



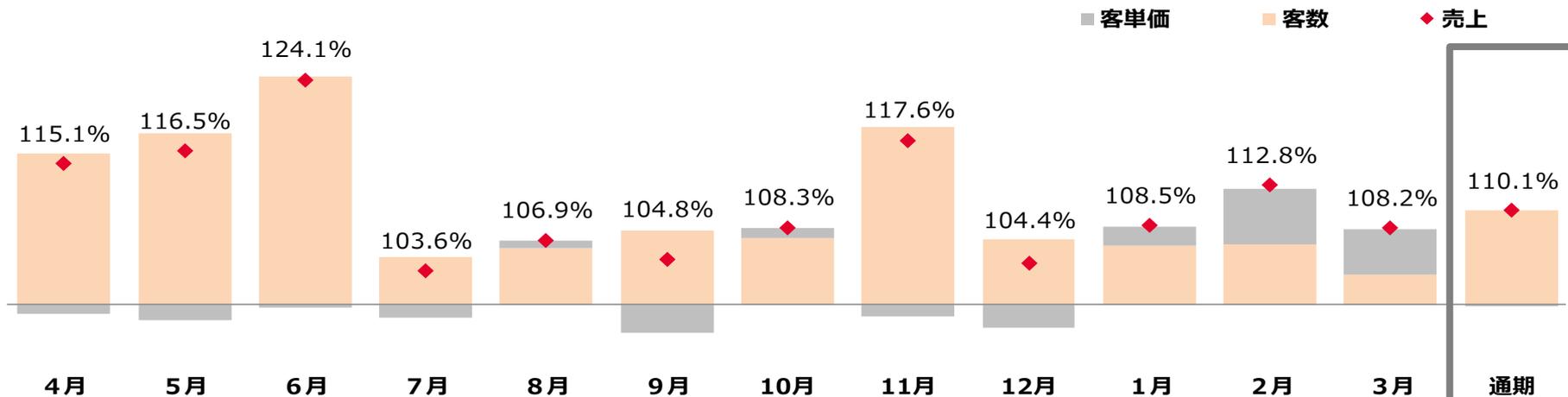
# 月別チェーン売上高・既存店前年比

<月別チェーン売上高 及び 既存店前年比>

単位：百万円



<月別既存店前年比 内訳 (客数・客単価) >

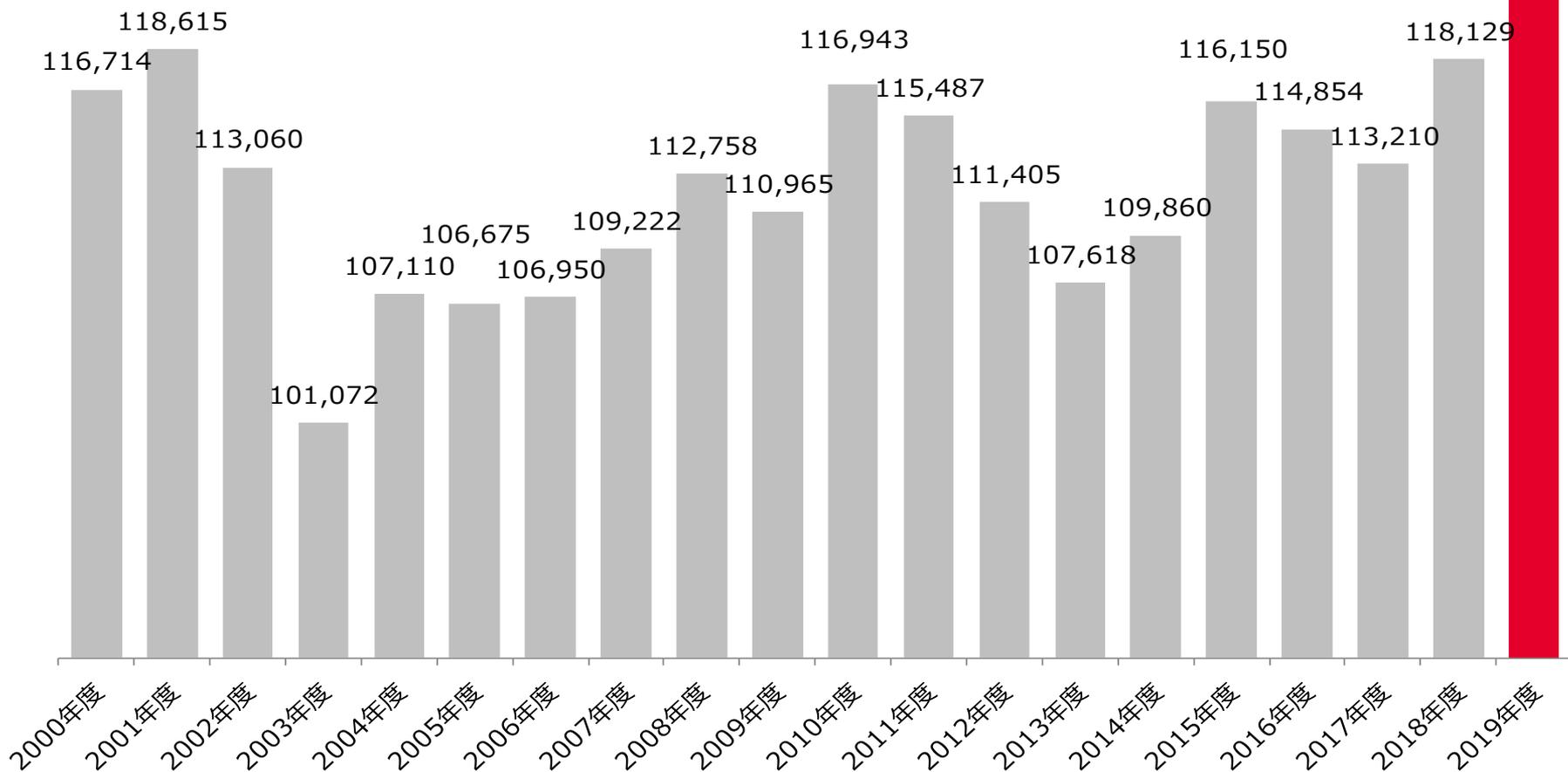


# 年度別チェーン売上高長期推移

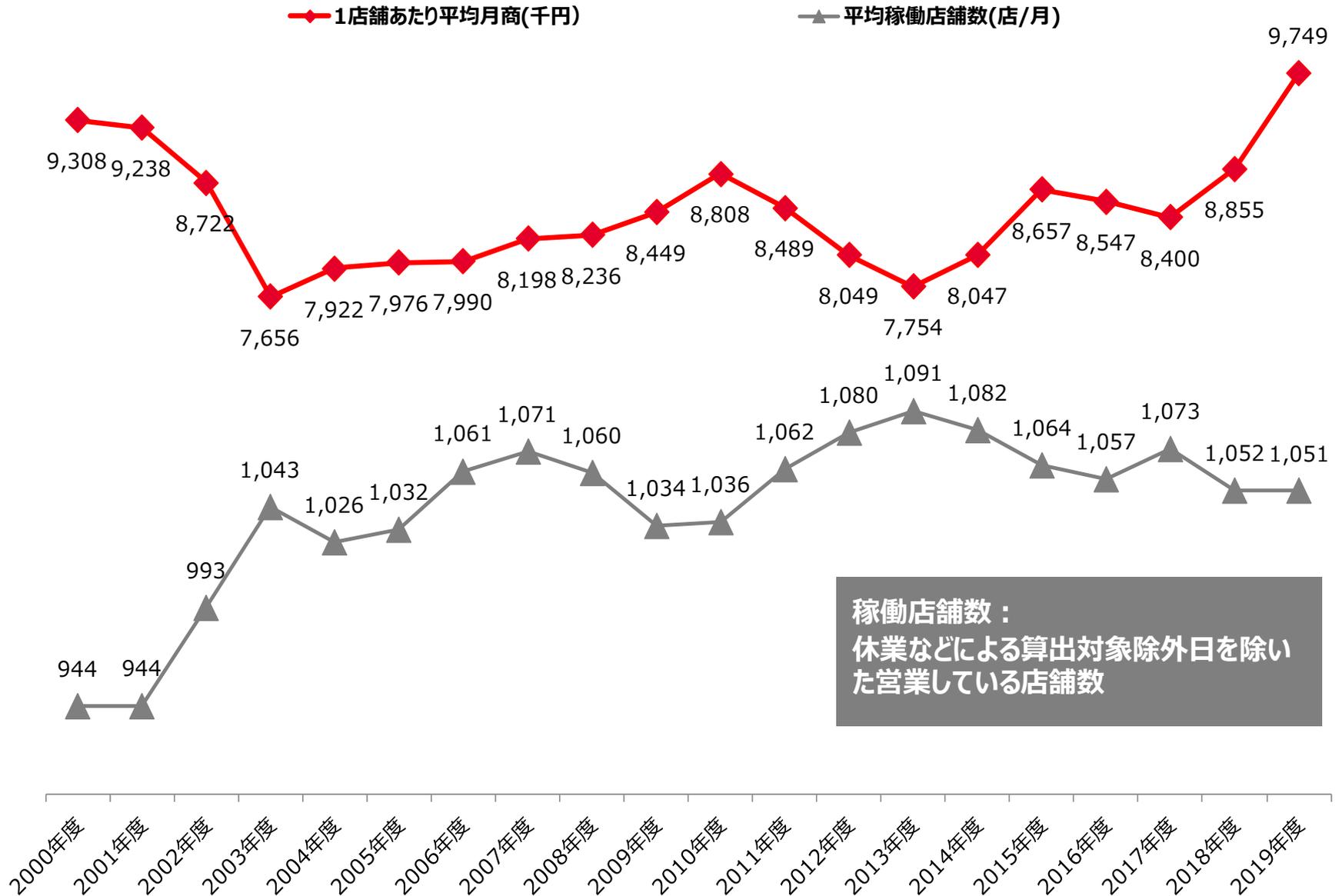
単位：百万円

128,755

過去27年間で最高を記録



# 既存店平均売上高 長期推移



# 2019年度 KFC事業 店舗数

2019年度 実績	期末店舗数	新店	純増減	改装
直営	306	7	0	46
フランチャイズ	827	12	1	166
<b>全店</b>	<b>1,133</b>	<b>19</b>	<b>1</b>	<b>212</b>

2018年度 実績	期末店舗数	新店	純増減	改装
直営	306	6	▲23	21
フランチャイズ	826	16	2	79
<b>全店</b>	<b>1,132</b>	<b>22</b>	<b>▲21</b>	<b>100</b>



## 2. 2020年度 業績見通し

# 2020年度 業績見通し



新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点で合理的な業績予想の算出を行うことが困難なことから未定としております。

今後、合理的な予想が可能となった時点で公表させて頂く予定です。



### **3. KFC事業の主な取り組み**

# 感染症対策

ケンタッキーフライドチキンは、お客さまと従業員の安全・安心を最優先に考え、感染症対策に取り組んでいます。



従業員の体温チェック



手洗いの徹底



マスク着用の徹底



「3密」を避ける対応



キャッシュレス決済



営業時間の短縮  
(一部店舗では休業)

店内客席での飲食を中止

# 創業50周年

日本KFCは、2020年に創業50周年を迎えました。

日々変化する時世の中においても、  
食を通じて「おいしさ しあわせ」を変わらず提供することで  
感謝の気持ちを形にまいります。



誰にも真似できないおいしさを守り続けることをお約束し、  
KFCらしいチャレンジに取り組んでいきます。

50周年、さらに先の50年も、  
お客さまをワクワクさせるKFCであり続けるために。

# 中期経営計画（2018-2020年度）

## 持続的なブランド成長への 事業基盤再構築期間

### 『原点回帰』

創業者カーネル・サンダースの想い＝  
“誰にもまねのできないおいしさとおもてなしの心”  
チキンのスペシャリストとして、おいしさ・安全・安心を更に追  
求し、お客様とKFCファミリー（KFCにかかわる全ての  
人々）をしあわせにする

### 『お客様目線（現場目線）』 （プッシュ型から価値共創型への変革）

お客様と共に、日常的な利便性向上・体験価値向上を  
実現する環境を創る

### 『人財育成』

従業員と共に、働きがいのある職場環境を構築し、中長期  
的な人財育成に繋げ、将来の経営土台を創る

## 対応戦略

### 日常化を目指した最適化

利便性  
向上

日常利用  
促進

ニーズが  
ある場所へ

客数の回復

### 体験価値の向上

デジタル  
施策

おいしさ  
しあわせ

快適な空間  
（戦略的改装）

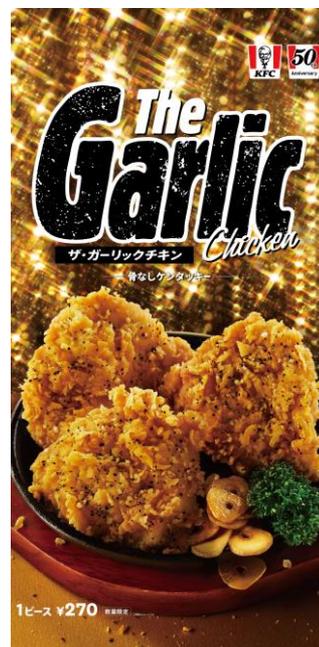
顧客ロイヤルティ醸成

# 日常化の推進

- バリュー施策による日常化 × 驚きや楽しさを届ける商品施策



×



- コミュニケーションのフレーム化

「今日、ケンタッキーにしない？」

# 日常化の推進

## ● 買いやすさの向上

### ➤ ネットオーダー



### ➤ キャッシュレス対応

- QRコード決済（2020年4月16日より全国サービス開始）
- クレジット
- 電子マネー
- 交通系電子マネー

※店舗によって取り扱い支払い種類に差異あり

# 日常化の推進

## ● デリバリーの対応強化

	2017年度	2018年度	2019年度
デリバリー実施店舗数 (自社/配達代行含む)	119	192	220

## ● トピックス

### 2019年10月 消費増税/軽減税率制度への対応

お客さま・従業員目線での“分かりやすさ”を第一に考え対応

- ✓ 「店内飲食」「持ち帰り」にかかわらず税込み価格を統一
- ✓ 税込み価格、10円単位の継続

# 体験価値の向上

## ●「QSC×H」の実践

すべてのお客さまにしあわせな気分でお帰りいただけるように



**Quality**

商品の品質

**Service**

サービス

**Cleanliness**

清潔さ



**Hospitality**

おもてなしの心



「商品の品質はもちろんのこと、サービス・清潔さはKFCの仕事の基本」

すべての行動におもてなしの心、ホスピタリティをもって

# 体験価値の向上

## ● KFC公式アプリの利用促進

マイレージプログラムやクーポンによる顧客ロイヤルティの醸成



ダウンロード数  
1,500万以上  
(2019年度実績)

# 体験価値の向上

## ● SDGs/CSRへの取り組み

安全・安心なおいしさ



チャリティ  
(国連WFP学校給食支援)



©Mayumi Rui

子ども食堂への支援  
(地域貢献、フードロスへの取り組み)



健やかで心豊かな社会と子どもたちの成長を願って

# ピープルビジネスの強化



- KFC文化の再醸成、繋がりの強化
- 研修システムの拡充
- 成長をサポートする制度の整備
- ダイバーシティへの取り組み強化

**「誰もが、いきいきと楽しく働ける職場に」**

人の成長と可能性を最大限サポート



本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて弊社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、弊社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は日本KFCホールディングス株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

***KFC***